

科目名	日 本 史 A	学 年	2 年	コース	全	単位数	2	担当者	
-----	---------	-----	-----	-----	---	-----	---	-----	--

### 1 目 標

近現代史を中心とする我が国の歴史の展開を，世界史的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境などに関連づけて考察させることによって，歴史的思考力を培い，国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。

### 2 到達目標

近現代史を中心とする日本史の展開を理解する。

世界史的な視野に立って，日本を取り巻く国際環境と関連づけて日本史を理解する。

歴史的な見方や考え方を身につけ，国際化した現代社会に対応する力を養う。

### 3 成績評価の方法

定期考査，提出物，授業への出席状況や授業態度を総合的に評価する。

### 4 学習者へのメッセージ

世界史Bを選択した者が選択履修する。

国際社会の中で主体的に生きていくことが求められている君たちにとって，現代日本の形成の歴史的過程に対する理解と認識をもつことは，とても重要なことであると考えている。自国の歴史への正確な知識を持つことが，諸外国や諸地域の人びととの相互理解の第一歩になる。中学校時代に日本史の大きな流れを学習しているが，日本史Aでは近現代史を中心に史実を正確に把握することを目指す。

歴史小説や時代劇が多くの人に好まれているように，人間の営みとしての歴史には，興味深い人物や出来事がたくさんある。教科書には現代社会を考える上で参考になる情報がたくさん載っている。積極的に学んでほしい。

様々な資料に基づいて歴史は叙述されている。博物館などの施設や地域の文化遺産について関心を高め，文化財の保護について関心を持とう。

### 5 使用教材（予定）

教科書「高等学校 日本史A」（清水書院）

### 6 自己評価

1年間を振り返って到達目標を達成できたか，自己評価をして，今後の課題を明らかにしよう。

到達目標 [ ] [ ] [ ]

課 題

A：十分，達成できた。 B：だいたい達成できた。 C：努力が不足した。

## 7 年間授業計画

月	単元(章,節など)	重点目標
4 、 5 、	歴史と生活  国際関係の変化と 幕藩体制の動揺	生活文化や地域社会の変化について学習し、歴史への関心を高め、歴史的な見方を身につける。 欧米諸国のアジア進出と幕藩体制の動揺及び近代の萌芽について理解する。
1 学 期 中 間 考 査		
6 、 7	明治維新と近代国家の形成  国際関係の推移と 近代産業の成立	欧米文化の導入と立憲体制が成立するまでの近代国家の形成について理解する。 日清・日露戦争前後の対外政策の推移と、産業革命が社会に与えた影響を理解する。
1 学 期 期 末 考 査		
9 、 10 、	第一次世界大戦と 政党政治の展開	デモクラシー風潮の高まりと社会運動の勃興などの社会的背景や国際情勢との関連を理解する。 知識層の増加や中間層の拡大を背景として、大衆文化が発展したことを理解する。
2 学 期 中 間 考 査		
11 、 12	第二次世界大戦をめぐる 国際情勢と日本	世界恐慌を契機とする国際関係の変化、また日本における国家主義の台頭及び軍部の台頭などの状況を理解する。戦争がもたらした惨禍に着目し、平和な国際社会の重要性を自覚する。
2 学 期 期 末 考 査		
1 、 3	戦後政治の動向と国際社会 経済の発展と国民生活 現代の日本と世界	戦後改革の背景や意義を認識し、アメリカ、ソ連、中華人民共和国、韓国などの国々との関係に着目する。高度経済成長が、国民の生活意識や価値観を変化させていったことを考察する。
学 年 末 考 査		

適切な主題を設定し、歴史への関心を高める学習を適宜取り入れる